

関西学院大学 教務機構ライティングセンター NEWS LETTER



特集

ライティングセンター
5周年記念シンポジウム
開催の様子＜後編＞

第1部「関西学院大学ライティングセンターの歩み」より

- ・ライティングセンタースタッフと受講生・利用者による座談会
- ・閉会挨拶

第2部「サブテーマに分かれての情報交換会」

特集

ライティングセンター 5周年記念シンポジウム 開催の様子<後編>

関西学院大学教務機構ライティングセンターの開設5周年を記念して、2025年2月27日（木）にシンポジウムを開催しました。前号の第1部「関西学院大学ライティングセンターの歩み」に引き続き、今号では、ライティングセンタースタッフと受講生・利用者による座談会、閉会挨拶、第2部「サブテーマに分かれての情報交換会」の内容をダイジェストでご紹介します。また関西学院大学 HP の「ライティングセンターについて」のページに、本シンポジウムの報告書を掲載しております。詳細はそちらよりご覧ください。

ライティングセンタースタッフと受講生・利用者による座談会

💡 本座談会の趣旨：開講科目や対面指導において、実際にライティングセンターの活動にかかわってきた受講生、科目の Learning Assistant（以下 L.A.）、対面指導の利用者、教育指導員の方々から、生の声や疑問をうかがい、それに対して教員や助手の考えも交えながら、さまざまな角度から「ライティングセンターとはどのような場所なのか」を考え、理解を深めることを目的に行われました。

第1部 「学部・大学院におけるライティング科目」

教員とともに、大学生向け科目受講生、大学院生向け科目受講生、L.A. が、ライティング科目の受講経験やサポート活動について語りました。

○ 大学生向け科目受講の所感

大学生向け科目の受講生からは、「書くことが怖くなくなった」、「スタディスキルセミナー（レポート執筆の基礎）を受講したことで、構成や引用の仕方が分かり、2000字の課題にも見通しを持って取り組めるようになった」との声がありました。また「講義動画でポイントを押さえ、授業では実践に集中できた」、「学習目的が明確になり、効率的にスキルを習得できた」との声があり、反転授業の効果が見られました。

○ 大学院生向け科目受講での成長

大学院生向け科目の受講生からは、ピアレビューを通じて「自分の文章の弱点に気づき、改善できた」という声が多く、専門性を高める場としての価値が強調されました。

○ L.A. から見た授業サポートにおけるやりがい

L.A. から、「学生の不安を和らげ、成長を間近で見られることがやりがい」、「授業中の小さなサポートが、受講生の積極性を引き出す」とのコメントもあり、L.A. 自身もサポートを通じて成長を感じられたようでした。



第2部 「対面指導」

ライティングセンターの利用者と教育指導員が、ライティングセンターでの対面指導の魅力や課題を共有し、助手がそれを踏まえてコメントをしました。



○ 利用者の声

ライティングセンターの利用を通じて、「卒論や長文課題で行き詰まったとき、第三者の視点での助言が突破口になった」、「章立てや論理構成のアドバイスで、文章の質が格段に向上した」との感想が寄せられました。疑問点をすぐに質問しやすく、学びやすい環境であることが示唆されました。

○ 教育指導員の視点

教育指導員から、「読む力や論理力が鍛えられ、自分の研究にも好影響があった」、「学生の課題を見極め、セッション内で目標を設定する難しさややりがいを感じる」との声もあげられました。対面指導を通じて、教育指導員自身が文章の問題点に気づきやすくなり、推敲の能力が向上した様子がうかがえました。

○ 運営に携わる助手からのコメント

「ライティングセンターの対面指導から、理念である“自立した書き手の育成”が研修や利用者への支援を通じて、教育指導員自身にも体现されている」と助手からコメントがありました。



閉会挨拶

登壇者：児島 幸治 ライティングセンター副長 / 国際学部教授



2020年のコロナ禍のさなかに生まれたセンターではありますが、本日のシンポジウムを拝聴して、ここ5年の間に学部生や大学院生に非常に良い影響を与えてきたのだと改めて感じています。ライティングセンターの重要性を再認識する機会になりました。今回こうして生の声を聞かせていただけてありがたく思っています。今後とも皆様からのご指導やご鞭撻をいただきながら、5周年を迎えたライティングセンターを6年、さらにその先へと発展させていきたいと考えています。

サブテーマに分かれての情報交換会

第2部「サブテーマに分かれての情報交換会」では、「ライティングセンターの運営」と「学部生・院生に対する日本語ライティング教育」のテーマに分かれて、登壇者や参加者とともに、意見や情報を交換し合いました。参加者から「提出されたレポートにコメントをつけて学生へ返しても、学生からの修正がままならない。どうしたら修正の意図が学生へ伝わるようになるか。」などといった話題が提供されました。



法学部開催「定期試験・レポート受験講座（第2回）」へ登壇

2025年6月4日（水）に法学部が開催した「定期試験・レポート受験講座（第2回）」において、レポート執筆の基礎的な内容に関する解説をライティングセンターが担当しました。本講座の目的は「レポートの書き方のイメージがついていない1年生に向けて、基本的な文章の構成を理解してもらうこと」であり、当日は1年生を中心に法学部生120名が参加しました。具体的には、レポートの構成や組み立て、本論の書き方などについての講座をおこないました。とくに、「そもそも大学で課される学術的なレポートは、これまでに高校などで執筆してきた作文やレポートと何が異なるのか」といった点や学術的なレポートの特徴、レポートを書くために必要な文献の検索方法などを中心に解説をおこないました。講座の参加者は集中して、耳を傾けている様子でした。

オンデマンド教材「レポートサポートシリーズ」配信中！

学部生がレポートを書く際に、ポイントごとに必要な情報へアクセスできる動画です。レポート課題を出された際の説明や補足などに、ぜひこちらの動画シリーズをご活用ください。オンデマンド教材は、右のQRコードよりYouTubeの再生リストもしくは、下記遷移よりkwic内学生キャビネットにも掲載しています。

学生キャビネット>教務機構>ライティングセンター>レポートサポートシリーズ
ライティングセンター制作オンデマンド教材



「出前講義」のご案内

ライティングセンターでは、学部生向けにアカデミックライティングに関する出前講義や動画教材をご提供できます。

内容：レポート執筆が初めて、または経験が少ない学部生向け

（下記の内容を含む30分程度の実施）

- ・レポート執筆の基礎に関する講座（20分程度）
- ・ライティングセンターの紹介（10分程度）

方法：①授業にセンタースタッフが出向く形での実施

②センター作成のオンデマンド教材をご提供する形での実施

※①、②ともに内容は同様です。

ご依頼：出前講義をご希望の方は、下記項目を記載の上、ページ下部のメールアドレスにてご連絡・ご相談ください。

- (1) 対象授業名と受講生の人数および年次
- (2) 実施を希望される授業日時の候補（複数ご提示ください）
- (3) 出前講義をご希望の方法（上記方法に記載の①もしくは②）
- (4) ご要望・相談事項（ありましたら、事前にお知らせください）

< 出前講義ご利用の声 >

出前講義をご利用された先生方より、下記のコメントをいただきました。

レポートの書き方について、必要な情報をわかりやすく説明していただき、大変有難かったです。

ライティングセンターでサポートしていただける内容が、学生だけでなく教員側からも具体的に理解できました。

ライティング対面指導の利用方法

1. 公式LINE/kwic/webから予約フォームに移動できます。
 2. 予約フォームで希望の時間と形態を選びます。
（1セッション45分で直接来室かオンラインでの実施）
 3. 予約完了後、相談内容や見てほしいレポートなどを送信します。
- ※予約枠に空きがある場合は、予約なしでの飛び込み利用も可能です。

ライティングセンター
利用予約ページ



レポート課題を出されたタイミングや、学部生からレポートの書き方に関する質問が出てきた場合には、ぜひ対面指導の利用を促してください！

お問い合わせ <平日 9:00 — 17:00>

教務機構ライティングセンター（西宮上ヶ原キャンパス大学図書館 B1F）

TEL：0798-54-7459 MAIL：writingcenter@kwansei.ac.jp

関西学院大学教務機構
ライティングセンター
マスコットキャラクター
ライトくん

